

大阪の福祉を知るみんなの情報誌

ウェルおおさか

vol.152 2024年10月号
隔月発行(偶数月1日)

特集

アシスタントワーカー導入のススメ

～職場環境改善と人材確保～

- 図書・資料閲覧室からのお知らせ
- 講座案内



アシスタントワーカー導入のススメ

～職場環境改善と人材確保～



わが国では、「超高齢化」と「人口減少」が急速に進行し、福祉・介護サービスの需要が増加する一方で、人材確保が喫緊の課題となっており、国や自治体も重点課題としてさまざまな取り組みを進めています。大阪市では、介護現場への「アシスタントワーカー」の導入を推進しています。アシスタントワーカーとは、介護施設等において掃除や食事の片づけ、洗濯、物品の補充といった直接介助に携わらない業務を担当する、“介護職場の新たな人材”のことです。大阪市も令和2年度から、介護現場にアシスタントワーカーを導入することで業務改善を行い、職員が誇りを持って働ける職場環境を実現するモデル事業（「介護の職場担い手創出事業」）に取り組み、令和4年度からは事業化するに至りました。

大阪市では、モデル事業でアシスタントワーカーを導入した施設の管理者、リーダー（事業担当）職員、その他の介護職員へアンケート調査を実施しました。導入1年目に介護職員に実施した調査では「適切な休憩が取れるようになった」「心にゆとりや余裕ができた」の項目に大きな改善が見られ（表）、2年目の調査では「残業が減った」の項目に75%が効果ありと回答するなど、業務時間中の介護職員の時間的、精神的なゆとりや余裕につながったというデータが得られました。

このモデル事業の2年間の効果検証を踏まえ、令和4年度から「アシスタントワーカー導入等による福祉・介護人材支援事業」を行っています。

介護業務を仕分け、可視化し各自の業務見直しにつなげる

アシスタントワーカーを導入する施設では、介護職の業務を「直接介助（食事、排せつ、入浴など）」に「携わる業務」と「携わらない業務（アシスタントワーカーの業務範囲）」に仕分けし、アシスタントワーカーが担当する業務のマニュアルを作成。OJT（仕事をしながら仕事のやり方を伝える）の仕組みづくりにも取り組みます。

このようにして、福祉・介護の仕事が未経験、あるいはブランクがある方でも働きやすい環境を整えて多様な人材の参入をしやすくし、介護職の業務を軽減して職場環境を改善。結果的に利用者と接する時間を増やして介護サービスの質を向上させることをめざします。また、業務仕分けなどを通して自分たちの業務内容を見直すことで、職員の意識改革やリーダーなどの人材育成につながる効果も期待されています。「介護業務の仕分け」や「業務のマニュアル化」「OJTの仕組みづくり」といった研修、コンサルティングなどには、業務改善等についての助言指導の分野で経験豊富な外部のアドバイ

ザーが、アシスタントワーカー採用後のスムーズな施設運営のため、伴走的な支援を行います。

職務環境改善へ期待がかかるアシスタントワーカーの役割

P3とP4では、モデル事業に参加した施設でアシスタントワーカーとして働く方や管理者の声を紹介しています。「業務が分かりやすくマニュアル化され、介護職の方の丁寧な指導もあり仕事に入りやすかった」というアシスタントワーカーや、「職場環境の改善を実感している」といった施設管理者の声は、職場環境改善や人材確保に向けた対策の大きなヒントになるのではないのでしょうか。

■表 介護職員（管理者・リーダー・事業担当を除く）への業務負担に関する調査結果：アシスタントワーカー導入1年目

	効果あり	どちらとも いえない	効果なし	未回答
心にゆとりや余裕ができた	82.6%	17.4%	0%	—
適切な休憩が取れるようになった	73.9%	23.9%	2.2%	—
残業が減った	47.8%	41.3%	10.9%	—
休暇が取りやすくなった	32.6%	52.2%	13.0%	1.7%

アシスタントワーカー導入施設

現在、市内10区18施設がアシスタントワーカー導入に取り組んでいます。(令和6年10月時点)
 具体的な業務内容や勤務時間は施設によって異なりますので、求人等のお問い合わせは下記までお願いします。

●北区 社会福祉法人 幸聖福祉会 特別養護老人ホーム 藤ミレニウム 〒531-0073 大阪市北区本庄西2-6-15 ☎06-6371-6233		●東淀川区 社会福祉法人 大阪自彊館 特別養護老人ホーム ジュネス 〒533-0023 大阪市東淀川区東淡路1-4-49 メゾンリベルテ ジュネス ☎06-6325-3336 障害者支援施設 エフォール エフォール ☎06-6325-3315			
●鶴見区 社会福祉法人 たらちね事業会 特別養護老人ホーム ファミリー 〒538-0032 大阪市鶴見区安田2-1-27 ☎06-6915-1717		●東住吉区 社会福祉法人 今川学園 障がい者支援施設 今林の里 〒546-0001 大阪市東住吉区今林3-1-87 ☎06-6791-1211		社会福祉法人 嘉誠会 特別養護老人ホーム ヴァンサンク東住吉 〒546-0013 大阪市東住吉区湯里5-13-5 ☎06-6760-7011	
●西区 社会福祉法人 亀望会 特別養護老人ホーム 江之子島コスモス苑 〒550-0006 大阪市西区江之子島1-8-44 ☎06-6225-2662		●西淀川区 公益財団法人 淀川勤労者厚生協会 介護老人保健施設 よどの里 〒555-0033 大阪市西淀川区姫島2-13-20 ☎06-6473-5152		●阿倍野区 社会福祉法人 日本ヘレンケラー財団 特別養護老人ホーム ミネルヴァあべの 〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町3-4-27 ☎06-6629-1110	
●生野区 社会福祉法人 基弘会 特別養護老人ホーム 夢の箱勝山 〒544-0021 大阪市生野区勝山南1-17-43 ☎06-6712-2220		社会福祉法人 三秀會 特別養護老人ホーム 薨 〒544-0015 大阪市生野区巽南3-7-30 ☎06-6752-1339		社会福祉法人 浪速松楓会 特別養護老人ホーム 寿幸苑 〒544-0023 大阪市生野区林寺4-13-14 ☎06-6714-2221	
●住之江区 社会福祉法人 ジー・ケー社会貢献会 特別養護老人ホーム グルメ軒屋社会貢献の家 〒559-0002 大阪市住之江区浜口東2-5-14 ☎06-6671-2500		社会福祉法人 健成会 特別養護老人ホーム 加賀屋の森 〒559-0011 大阪市住之江区北加賀屋5-4-23 ☎06-6686-5301		アミコ株式会社 グループホームアミコ 愛・あい・東加賀屋 〒559-0012 大阪市住之江区東加賀屋1-11-15 ☎06-6690-0112	
●住吉区 社会福祉法人 四恩学園 ふれ愛の館しおん 地域密着型特別養護老人ホーム 〒558-0011 大阪市住吉区苅田4-3-9 ☎06-6606-8400		社会福祉法人 央福祉会 特別養護老人ホーム ウェルネスあびこ 〒558-0015 大阪市住吉区我孫子西1-2-15 ☎06-6608-3000		社会福祉法人 ライフサポート協会 特別養護老人ホーム なごみ 〒558-0054 大阪市住吉区帝塚山東5-10-15 ☎06-6676-0753	

アシスタント
 ワーカー
 勤務の様子



「明るい職員さん、出会いの数々、仕事のやりがい」が、明日の力に

勤務先／社会福祉法人 ライフサポート協会
特別養護老人ホーム なごみ

アシスタントワーカー 埜田さん

■年齢:60代 ■勤務年数:約4年(令和6年10月時点)

■勤務時間:週2日 1日4時間 ■通勤時間:徒歩約10分

■業務内容:清掃、ベッドメイク、配膳・下膳、洗い物、洗濯物たたみ。その他、利用者との会話によるコミュニケーション、食事の盛り付け業務も希望して携わる

埜田さんは市役所職員を退職後、興味のあった介護に携わりたいと、ハローワークの介護セミナーを受講。そんな折、当施設のアシスタントワーカー募集の情報を回覧板で見て応募し、施設見学と面接を経て就職されました。

「面接に来た際に感じたのは「職員さんがみんな明るく楽しく仕事をしている」ということです」「最初に持っていた「介護の現場は大変そう」という印象が大きく変わり、ここで働きたいと思ったんです」と埜田さん。

勤務は週2日で、父親がデイサービスに行っている時間に働かれています。担当業務については、「幅広い仕事に関わりたい」という思いがあり、アシスタントワーカーの業務範囲の中で担当者と相談しながら決めたとのこと。仕事のやり方について埜田さんは「写真で分かりやすく記されたマニュアルがあり、職員さんが具体的に分かりやすく教えてくれました」と話しました。

働きながら介護について学べる仕事

埜田さんの主な業務は、清掃、ベッドメイク、配膳・下膳、洗濯物たたみなど。「人と関わって、人の役に立つ仕事でしたかったです。もともと掃除も好きで、「きれいにしてくれてありがとう」の言葉がとても嬉しい」と埜田さん。利用者さんにも積極的に話しかけて、体調などを聞いたりしながら、気になることがあれば介護職や看護師に伝えて対応してもらおうといいます。また、調理員の忙しい様子を見て「手伝えることはないですか」と施設の方に相談をし

て、今は食事の盛り付けも業務の一つになっているそうです。「利用者さんの体調を尋ねながら食事の量を調整したり、今日のおかずのことを話したりして楽しみながら仕事できています」と埜田さん。「職場には若い世代の方も多く、話をしているとストレス解消にもなる。自身の親の介護をしているので、介助の様子を見て学んだり、介護食の作り方を管理栄養士から教わったりすることもあります。勉強になることがとても多いんです」。

アシスタントワーカーという仕事について埜田さんは、「仕事の内容は難しいものはないですし、実際にやってみるとこの仕事の楽しさが分かります。ここだと思った施設に、まず見学に行くことをオススメします」。

職員にゆとりが生まれ利用者との会話が増加

副施設長の上村さんは、「埜田さんには、本当にいろいろなことに関わってもらっています。ご自身が前向きで、やる気に満ちていて、利用者さんにも積極的に声かけしてもらえるのもありがたいです。埜田さんと話していると、みなさんが楽しそうなんですよ」と笑います。この施設では、アシスタントワーカー導入を検討して以来、職員が研修に参加し、業務の切り分けやマニュアル作りを専門アドバイザーと相談しながら行ってきました。「業務の切り分け等の過程で、介護職の業務範囲が膨大になっていることを再認識し、アシスタントワーカーの役割の必要性が理解できました」と上村さん。



▲洗い物を行う埜田さん

当初は、アシスタントワーカーの業務であるシーツ交換などを、介護職員がついっかりいつも通りおこなってしまうこともありましたが、時間をかけて新しい役割の落とし込みをおこない、それぞれの業務分担が浸透してからは、介護職などに少しずつゆとりが生まれてきたとのこと。今ではアシスタントワーカーは「なくてはならない存在」になっています。

「現在2名いるアシスタントワーカーが勤務についてから、介護職が専門分野の仕事に専念できるようになり、少し余裕ができて入居者さんとの会話も増えました。施設全体に活気が出てきたと感じています」と上村さん。アシスタントワーカーを導入して以来、そのメリットを実感しているそうで、「埜田さんは仕事を有意義に感じておられ、利用者さんは埜田さんとの会話を楽しまれている。施設や職員はそれによって助かり、相乗効果も表れているという意味で、まさにウィンウィンの関係です」と笑顔で話されました。



社会福祉法人 ライフサポート協会
特別養護老人ホーム なごみ
副施設長 上村 淳さん

この働き方が、背中を押してくれた 感謝の言葉が毎日のモチベーション

勤務先／社会福祉法人 央福社会
特別養護老人ホーム ウェルネスあびこ

アシスタントワーカー 加藤さん

- 年齢:30代 ■勤務年数:約2年6カ月(令和6年10月時点)
- 勤務時間:週4日 1日3時間 ■通勤時間:自転車です約10分
- 業務内容:清掃(居室等の掃除機がけ、拭き掃除など)

アシスタントワーカーとして2年以上前から働く加藤さん。ここに勤める以前は、なかなか社会に一步を踏み出せない状況で、住吉区の子ども若者育成支援事業を行う団体の就労支援を受けていました。そんな中で「支援団体の方から、“アシスタントワーカーとして、働いてみないか”と声をかけられたのが仕事を始めたきっかけです」と加藤さん。仕事内容が清掃業務と聞いた時、日頃から家事の一通りを家族で分担して行っていたため、「家事の延長のような仕事で人の役に立てるのなら」と前向きになれたとのこと。

現状について、加藤さんは「仕事の段取りが分かるにつれてスムーズにできるようになり、掃除の範囲も少しずつ増え、今では2階と3階の居室を担当しています。1日おきに2階か3階のフロアを清掃し、早く終われば、拭き掃除や、掃除機のメンテナンスも行います」と話します。

また、「アシスタントワーカーは、取り組む業務内容がはっきりしていて、自身の仕事に集中できます。今では周囲に目配りする余裕もあるので、利用者さんの体調異変に気付いて看護師につないだり、介助が必要なことを利用者さんに求められたら介護職に伝えることもあります」とエピソードを交えて教えていただきました。

仕事のクオリティを 高め自信につなげる

コロナ禍真ただ中の2年前に就職された加藤さん。苑長の安田さんは「施設内での感染拡大防止が徹底され、気を配る毎日でした。ただ、加藤さ

んにとっては、この職に就く以前は人と話をするのが苦手だったということで、仕事に慣れるまでの間、面会などが行われない環境下で働けたことが結果的に良かったのかもしれない」と話します。

これについて加藤さんは、「最近、面会に来られる方も多くなり、気づかず面会中の部屋へ掃除機をかけに入ってしまうことがあります。状況をしっかり確認し、清掃ができる部屋から臨機応変に行えるよう対応していきたい」と、取り組みたい課題を挙げました。今後の目標については「利用者さんや面会に来られた方に“キレイにしてくれてありがとう”と感謝の言葉をいただけるのが何よりのやりがいになり、大きなモチベーションになっています。今の業務を改善しつつ、クオリティを高めて自信につなげたい。それができれば、仕事の幅も増やしていけるかもしれません」と語りました。

専門職にゆとりができ 職場の雰囲気が向上

安田さんは、アシスタントワーカーの導入の効果について「一番良かったのは、介護職の業務負担を軽減できて、残業が減ったこと。また、施設内がきれいに保たれるようにもなりました。食べこぼしなどの細かい清掃は、気づいていても、後回しになってしまう時がありました。定期で清掃を行う業者さんでは難しい、都度都度の掃除に対応できるアシスタントワーカーの存在は重要です」とメリットを強調されました。

「現状7名のアシスタントワーカーがいますが、既存の施設スタッフが仕事



▲清掃作業を行う加藤さん

に余裕を持てるようになり、雰囲気も相当良くなりました。これまでは介護職の業務の幅が広く、時間に追われてバタバタすることもありましたから」と安田さん。「アシスタントワーカーを導入する施設が受ける研修に参加した初めの頃は“迎え入れるまでの取り組みが大変そうだな”と正直思いました」と、当初は手探りの状況だったそう。ただ、進むにつれて、研修を行う意味も理解できたそうで、「リーダーに指名した介護職が、“業務の切り分け”や“マニュアルづくり”を、職員と話し合いながら頑張ってくれました」と振り返ります。その介護職が、約1年間の研修を終える頃には頼もしいリーダーに成長。アシスタントワーカーと介護職員をつなぐ役割を果たし、働く環境をスムーズに整えることができたとのこと。「介護職の業務を見直し、職場環境をより良くしたいと考える施設は、ぜひアシスタントワーカーを導入することをオススメします」と、安田さんは実感を込めて話されました。



社会福祉法人 央福社会
特別養護老人ホーム ウェルネスあびこ
苑長 安田 成人さん

アシスタントワーカーが ケアと育成と雇用を変える



株式会社エクセレントケアシステム 執行役員 人材開発部 部長
公益財団法人介護労働安定センター 雇用管理・人材育成コンサルタント

柴垣 竹生さん

業務改善が 必須の時代に

令和6年度介護報酬改定で、多くのサービスに介護現場の生産性向上について検討する委員会の設置が義務付けられました。これは、今後人手不足がさらに進むなかで、ケアの質を担保しながら業務改善することは避けられないという制度の方向性を示唆していると捉えるべきでしょう。このアシスタントワーカー事業はそのさきがけであり、入所・入居における業務改善のひとつのロールモデルになっていくのではないかと考えています。

この事業のユニークなところは、伴走型である点です。大阪市福祉局生活福祉部地域福祉課、大阪市社会福祉研修・情報センター、介護労働安定センター大阪支部、アドバイザーを務める私の4者で構成される外部チームが、1年間、各事業所の内部チームにペースメーカーとして並走します。セミナーのような単発のノウハウ提供だけではなく、通年の手厚い支援が特徴です。

3つの壁を越えて 現場を変える

プロジェクトは大別して以下の8つの行程で進みます。

①導入目的の共有→②課題抽出と業務仕分け(業務アセスメント)→③現場への周知→④マニュアルの作成→⑤雇用条件の決定→⑥募集・採用→⑦OJTの実施→⑧稼働という流れを辿るのですが、中でもポイントになるのが③④⑥の「壁」です。

③は、警戒心の壁です。どのような現

場であっても、慣れたやり方を変えられたくないと思うものです。各施設のプロジェクト・リーダーたちは、新しい取り組みに慎重になりがちな現場職員に対して、アシスタントワーカー導入の必要性とメリットを説き、まずこの最初の壁を越えていきます。その熱意と実行力には、見ていていつも頭が下がります。

④は、マニュアルの壁です。日常業務を続けつつ、時間を捻出してマニュアルを作っていくのは本当に大変な作業です。内部チームのメンバーは、多忙な業務の合間を縫ってミーティングを重ね、ベッドメイク、清掃、配膳・下膳など、アシスタントワーカーに切り分ける業務の手順書をひとつずつ整備していきます。

⑥は、雇用の壁です。そこまで準備を進めてきた以上、実際にアシスタントワーカーを採用しなければなりません。このプロジェクトのキャッチフレーズは「切り分ける業務は現場に埋まっている、それを担う人材は裏のマンションに住んでいる」なのですが、毎年、紆余曲折はありながらも、ほぼこの言葉通りの「近所採用」が実現しています。職員やチラシを通じた口コミの力は侮れません。

業務改善だけに 終わらない価値

この事業は、業務改善、人材育成、多雇用化に一度に取り組むという非常に付加価値の高い試みです。アシスタントワーカーの雇用によって介護職がケアに集中できる環境を整えるだけでなく、人材育成と多雇用化という点でも

得るものは大きいと感じています。

若手のメンバーたちは、前述した8つの行程を体験することで間違いなく成長していきます。前述した、現場への説明、マニュアル作成、雇用・OJTという3つの壁を越えていくごとに、顔つきや発言がどんどん変わっていくのが印象的です。それは、この事業のプロセスに、目標設定や計画化、チームビルディングといったリーダーシップに深く関わる要素が数多く組み込まれているからでしょう。

また、従来の職員採用では取りこぼしていた人材との接点が生まれることも、特筆すべき点です。前ページで紹介されている埜田さんも、加藤さんも、これまでの介護職求人ではおそらく出会えなかった人材です。アシスタントワーカーの年齢制限が緩やかだったからこそ、埜田さんのようなやる気のある人材を雇用できたのですし、業務範囲が清掃に限定されていたからこそ、加藤さんは「それならできそう」と社会への一歩を踏み出せたのです。

キャッチフレーズ通り、アシスタントワーカー候補は近所に住んでいました。その仕事は現場で見つかりました。同じように、人材育成の新たな切り口も、多雇用化の具体的な手段も、実は私たちの足元に埋まっていたのです。

このプロジェクトには、単なる業務改善だけに終わらない多様な価値と、ケアを変えていく可能性が満ち溢れていると思います。

ウェルおおさか はーとフェア2024

今年も
開催
します!

入場無料!

つながろう～つなげよう～ふくしの輪!

令和6年12月7日(土) 10:45～15:30

会場

大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

開催内容

● 映画「梅切らぬバカ」上映会

11:00～ **事前申込制**



梅切らぬバカ

大きな森の木に抱かれ、母と息子は今日も生きる。仲っぴりと、丁寧に。人と人がつながり、共に生きることの喜びを描く。

©2021「梅切らぬバカ」フィルムプロジェクト

〈あらすじ〉

古民家で寄り添って暮らす母と自閉症を抱える息子。ささやかな毎日を送っていたが、母は悩んだ末に息子をグループホームへ入居させることに。初めて母と離れ、環境の変化に戸惑う息子はホームを抜け出してしまい…。人と人とがつながり、共に生きることの喜びを描いた映画。

● きらめき大賞&講演会 13:15～ **事前申込制**

【第1部】きらめき大賞 表彰式・報告会

福祉・介護の仕事で出会った「すてきなエピソード」の受賞作品の表彰と報告発表を行います♪

「ちちんぷいぷい」でおなじみ!

【第2部】

角 淳一さん講演会

「笑って楽しく生きていく」

フリーパーソナリティ角 淳一さんの講演会です!メディアのお仕事を卒業されてから、プライベートの時間を満喫されています。趣味の話や大病をされてからの健康の秘訣、お仕事と生活のワークライフバランスなど、アクティブシニア代表の角さんにお話いただきます。



● 福祉・介護の展示・体験&相談コーナー

● 介護技術講座～持ち上げない介護技術を学ぼう～

11:00～ **事前申込制**

● 高齢者にやさしい食事講座 13:30～ **事前申込制**

● 自助具相談コーナー&製作体験講座 **事前申込制**

体験講座▶第1部11:30～、第2部14:00～

● ゆ～とあい子どもの体験コーナー 13:00～

(実験・知育遊び・ゲーム)

● 絵本・紙芝居読み聞かせ 絵本11:30～ 紙芝居12:00～

● ミニステージ (踊りや演奏など楽しいパフォーマンス)

● たこ焼き・クレープ・弁当・手作り小物などの販売

● リサイクルブックフェア ● スタンプラリー

申込方法/電話・ホームページ・メールにて受付

☎06-4392-8201

✉kensyu@shakyo-osaka.jp

申込締切/令和6年11月17日(日)17:00まで

メールでお申し込みの際は、
①講座名、②名前、③住所、
④電話番号をお送りください



ホームページからの申し込みはこちら▶

講座案内

●福祉従事者向け研修

申込み多数の場合は抽選です。締め切り後に、事業所あてに決定通知を送付します。

研修名	日時	受講対象者	講師	内容	その他
管理職・リーダーのためのよこいと座談会	10月30日(水) 13:30～16:00	大阪市内の福祉関係施設・事業所に勤務する管理職、チームリーダー、それらの役割を担うことが想定される職員	ふくしと教育の 実践研究所 SOLA 主宰 新崎 国広	管理職・リーダー職員同士で、仕事に関する悩みの共有や情報交換を行いながら、横のつながりを広げましょう。	定員：30人 締切：10月22日(火) 受講料：無料
スーパービジョン研修	11月1日(金) 11月20日(水) 11月27日(水) 13:30～17:00	大阪市内の福祉関係施設・事業所に勤務する管理職、チームリーダー、それらの役割を担うことが想定される職員	大阪城南女子短期大学 教授 前田 崇博	福祉職場での専門職の育成・定着のために、コーチング技法を修得し、スーパーバイザーとしてコーチや教員の役割だけでなく、人材育成や生産性向上に向けて多種多様な役割と任務をこなせる現場のコーチ養成のための講座です。	定員：48人 締切：10月15日(火) 受講料：4,500円
職場における人間関係研修	11月26日(火) 14:00～17:00	大阪市内の福祉関係施設・事業所で勤務する職員	兵庫県対人援助 研究所 主宰 稲松 真人	職場における人間関係をよくするためには、どのような取組みが必要か、また、人間関係を取りづらいつ職員への理解と対応を学びます。	定員：36人 締切：10月31日(木) 受講料：1,500円
障がいのある人の自己決定とその支援	12月2日(月) 13:30～16:00	大阪市内の福祉関係施設・事業所で勤務する職員	武庫川女子大学 教授 與那嶺 司	障がいのある人の『自己決定』がどのようなものなのか、また、その『自己決定』にどのような個人・環境要因が影響を与えるのかを学び、障がいのある人の意思やニーズに基づいた適切な支援を考えます。	定員：36人 締切：11月11日(月) 受講料：1,500円
障がい者虐待防止について考える	12月13日(金) 14:00～16:30	大阪市内の福祉関係施設・事業所で勤務する職員	大阪城南女子短期大学 教授 前田 崇博	障がい児・者を取り巻く課題や現状とともに、利用者主体の支援のあり方を学び、施設内のできる方策について考えます。	定員：54人 締切：11月22日(金) 受講料：無料

★日程及び締切日は、主催者の都合で変更する場合があります。

♡ウェルおおさかはーとフェア 12月7日(土)にて開催♡

申込締切 ▶ 11月17日(日)17:00まで

講座名	時間・会場	定員
映画『梅切らぬバカ』上映会	11:00～12:20 (大会議室)	先着80人
きらめき大賞&角淳一さん講演会	13:15～15:30 (大会議室)	先着80人
介護技術講座 ～持ち上げない介護技術を学ぼう～	11:00～12:30 (介護実習室)	先着20人
高齢者にやさしい食事講座	13:30～15:00 (介護実習室)	先着20人
自助具製作体験講座	第1部 11:30～12:30 第2部 14:00～15:00 (エントランス)	先着 第1部 15人 第2部 15人

申込・問合せ先

研修の申込み方法 ▶ 当センターのホームページから申込みか、申込用紙をダウンロードしてFAXでお申込みください
市民向け講座のみ電話でも受け付けます

大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

☎06-4392-8201

☎06-4392-8272

🌐<https://www.wel-osaka.com>

✉kensyu@shakyo-osaka.jp

図書・資料閲覧室からのお知らせ

図書・DVD新着情報

図書紹介

運営指導はこれでOK!おさえておきたい算定要件
居宅介護支援編 令和6年度介護報酬改定対応

小濱 道博 著
第一法規 2024年

「運営指導」で、行政処分につながるような運営基準の誤り、報酬の返還につながるような算定要件の誤りを起こさないための、主に事業所の管理者向けの解説書。令和6年4月の報酬改定に対応。豊富な図やイラスト、チェック形式で簡単に理解できる!



ケアマネジャー・ケアスタッフのための介護支援の手引き 利用者の理解を深める課題分析

宮城県ケアマネジャー協会 ほか 編集
中央法規出版 2024年

新・課題分析標準項目に対応!アセスメントの手引書。厚生労働省が示している課題分析標準項目(23項目)をさらに細分化し、なぜその情報を把握しなければならないのか、またそれらを把握するうえでのポイントを解説。



法的トラブルを防ぐ介護現場のコンプライアンス
ケーススタディ 管理者が知らないでは済まされない!
研修や指導に使えるポイント解説付

森崎 のりまさ ほか 著
第一法規 2024年

介護現場で実際に起きているコンプライアンス違反事例を基に、最低限押さえておくべき法的リスクやとるべき行動をケーススタディで解説。



DVD紹介

ふくしの仕事Ⅲ～障がいを持った人に寄り添う仕事～障害者福祉サービス編 第1巻～第4巻

東京シネ・ビデオ 2020年

- 第1巻 障がい者グループホームではたらく 看護師(15分)
- 第2巻 障がい者グループホームではたらく 生活支援員(15分)
- 第3巻 地域活動支援センターではたらく 生活相談員(15分)
- 第4巻 障がい者福祉施設ではたらく 音楽療法士(16分)



グリーンケアの時代に
～あなたはひとりじゃない～

平成プロジェクト 78分 2024年

小学校児童殺傷事件で子どもを失った家族、東日本大震災で喪失を経験した人々の心を介護する僧侶、我が子を病気で突然失った家族、大病を抱える中で夫の自死を目の当たりにした女性など、悲嘆に暮れる人が立ち直れるよう支援する「グリーンケア」の必要性を説いたドキュメンタリー。



渇水

KADOKAWA 100分 2024年

市の水道局に勤める岩切俊作は、料金徴収や停水執行の業務に就いていた。貧しい家庭を訪問しては忌み嫌われる日々を送る俊作。ある日、業務中に育児放棄を受けている幼い姉妹と出会う。心の渇きにもがく水道局職員の方が幼い姉妹との交流を通して生きる希望を取り戻していく姿を描く。



募集!!

あなたの周りに眠っている古本はありませんか?

12月に開催する「リサイクルブックフェア」の古本を募集しています!

- 本、絵本、マンガなどジャンルは問いません。何冊でもOK!
- 読めないほど傷んだ本の寄贈はご遠慮ください。
- 寄贈していただいた本は返却できません。
- 募集締切 / 12月6日(金)
- 受付場所 / 大阪市社会福祉研修・情報センター 1階 事務所 / 2階 図書室



リサイクルブックフェア

「リサイクルブックコーナー」の古本を無料でお持ち帰りいただけます!

- 開催場所 / 2階(予定)
- 開催期間 / 12月7日(土)10:45～15:30まで

毎週金曜日の開館時間を午後7時まで延長しています。ぜひご利用ください!

大阪市社会福祉研修・情報センター2階の図書・資料閲覧室では、福祉に関する図書・DVD・ビデオなどを、無料で貸出しております。(認知症、介護技術、手話のDVDや、福祉の関係の雑誌などが充実しています。)



開室時間 / 月曜日～木曜日・土曜日 9:30～17:00、金曜日 9:30～19:00

貸出期間 / 2週間(図書・雑誌等は5冊、DVD・ビデオは5本まで)

利用資格 / 貸出し期間(2週間)内に、来館しての返却が可能な方

※郵送での返却はできません

※初回の登録時には、住所・名前などの証明ができる本人確認書類(免許証・保険証など)をご持参ください

休室日 / 日曜日・祝日(土曜日は除く)・年末年始

問合せ先 / ☎ 06-4392-8233

お電話で図書・DVDの予約も承ります



すこやか大阪 21



健康と思う今こそ、受けよう検診!

大阪市民の死亡原因第1位は「がん」です。がんは2人に1人がなる病気、早期発見・早期治療のため、定期的ながん検診を受けましょう。

■大阪市では次のがん検診を実施しています。

検診種別	検査方法	実施場所	料 金	対象者・受診頻度※1
胃がん検診 (50歳以上の方はどちらか選択してください)	胃部エックス線検査	取扱医療機関	500円	当該年度末現在50歳以上の大阪市民(年度中1回)
	胃内視鏡検査	取扱医療機関	1,500円	当該年度末現在50歳以上で前年度に受診されていない大阪市民(2年度に1回)
大腸がん検診	免疫便潜血検査	保健福祉センター	300円	当該年度末現在40歳以上の大阪市民(年度中1回)
		取扱医療機関		
肺がん検診	胸部エックス線検査 (ハイリスク者には喀痰細胞診検査も併せて実施)	保健福祉センター	無料 (喀痰細胞診検査:400円)	当該年度末現在40歳以上の大阪市民(年度中1回)
		取扱医療機関		
子宮頸がん検診	子宮頸部細胞診検査	取扱医療機関	400円	当該年度末現在20歳以上で前年度に受診されていない女性市民(2年度に1回)
乳がん検診	超音波検査	取扱医療機関 ※視触診あり	1,000円	当該年度末現在30歳代の女性市民(年度中1回)
	マンモグラフィ	保健福祉センター ※視触診なし	1,500円	当該年度末現在40歳以上で前年度に受診されていない女性市民(2年度に1回)
取扱医療機関 ※視触診の有無は医療機関により異なる				
前立腺がん検診	血液検査	取扱医療機関	1,000円	当該年度末現在50・55・60・65・70歳の男性市民(年度中1回)

(お問い合わせ) 大阪市健康局健康推進部健康づくり課(がん検診専用電話) ☎06-6208-8250

■がん検診以外の検査も実施しています。

検診種別	検査方法	実施場所	料 金	対象者・受診頻度
B・C型肝炎ウイルス検査	血液検査	取扱医療機関	無料	20歳以上の市民で、過去に肝炎ウイルス検査(大阪市が実施するものに限らない)を受けたことがない方。また大阪市肝炎フォローアップ事業に同意する方。
骨粗しょう症検診	踵骨超音波測定法	保健福祉センター	無料	当該年度末現在18歳以上の大阪市民※1
歯周病検診	問診・口腔内診査	取扱歯科医療機関	500円	当該年度末現在20・25・30・35・40・45・50・55・60・65・70歳の大阪市民※1※2

※1 いずれの検診も、当該年度に加入保険や勤務先等で同等の検診を受診できる方、検診部位の病気等で治療中・経過観察中の方、自覚症状のある方、同一年度中に自治体、加入保険や勤務先等で同等の検診を受診済みの方(自費や診療によるものは含まない。ただし、受診頻度が2年度に1回の検診は前年度受診済みも含む)は対象外です。また、無料受診の該当者等については、大阪市ホームページ等でご確認いただくか、各区保健福祉センターへお問合せください。

※2 令和6年度は経過措置により、令和6年1月1日～令和6年3月31日の間に40・45・50・55・60・65・70歳になられた方も対象となります。

(お問い合わせ) 大阪市保健所感染症対策課(肝炎ウイルス検査) ☎06-6647-0656

大阪市健康局健康推進部健康づくり課(骨粗しょう症検診) ☎06-6208-9943

(歯周病検診) ☎06-6208-9963

■大阪市国民健康保険被保険者の方へは生活習慣病の健診も実施しています。

特定健診	実施場所	料 金	対象者
	保健福祉センター等 取扱医療機関	無料 (要受診券)	40歳以上74歳までの大阪市国民健康保険被保険者の方(来年の3月31日までに40歳になる方を含みます)

(お問い合わせ) 大阪市福祉局生活福祉部保険年金課 ☎06-6208-9876

今月の自助具／軽量ホルダー型スティックペン

主な適応疾患・対象者 ▶ 手指の筋力低下や麻痺のある方

〈機能・特徴〉

- タッチペンの付いたクリップ状のホルダーに手を通して保持することでタブレット画面の操作ができる
- ホルダー部は熱可塑性のカーボンファイバー強化プラスチック製で、熱を加えて手に合わせた加工ができ、薄くて軽くフィット感が良い。

〈使い方〉

- 通電ペンの付いたカーボンファイバーのU字型ホルダーの上部から手を通し、手を挟み込み固定して使う



資料提供・問合せ ▶ 特定非営利活動法人 自助具の部屋

☎06-4981-8492(月・水・金 10:00～15:00)

NPO自助具の部屋ホームページ▶



健康生活 応援グッズ

移動を安全快適に

福祉先進国スウェーデンが生んだモジュール車いすの最高傑作



●モジュール車いす REVO6

アームサポートやフットサポートの高さ調節はもちろん、座面や背もたれ(張り調整付)の高さ・角度に加え、駆動車輪のポジションなども調整可能。ご利用者の身体状況やニーズに合わせて車いす環境を最適化できます。

コストパフォーマンス性に優れた最新多機能モデル



●STAYER+(スタイヤープラス)

シート生地は次亜塩素酸ナトリウムやアルコールによるお手入れが可能です。タイヤは空気補充の要らない「ノーパンクタイヤ」が標準装備で、制動力に優れたドラム式介助ブレーキが付いています。

スポーティー&シンプル



●S-MAX FLAT FRAME

(エスマックス フラットフレーム)

スポーティーフォルムで、シンプルなフレームワークが魅力的な1台です。調整機能を必要最小限に抑えて軽量化を実現しました。絞りのないレッグパイプ形状なので、片マヒや立位可の方にもお勧めです。

問合せ

公益社団法人関西シルバースervice協会

介護情報・研修センター福祉用具展示場

〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15

大阪府社会福祉会館1階

☎06-6763-1480

☎https://kansil.jp

マイナンバーカードの申請受付

ご希望の場所に **無料**
お伺いします!

区役所に行かなくても、
カードを受け取れます!

予約制

写真撮影
無料!

時間は約**20分**

※別途設営時間が必要となります

※訪問先は大阪市内に限らせていただきます。

「マイナンバーカードをまだ申請していない方」と
「マイナンバーカードを申請済でまだ受け取っていない方」の両方に対応します。

外出が困難な方は、お一人でもご利用できます

※同居のご家族等も一緒にご利用いただけます。

外出が
困難な方の例

- ・病気で寝たきりの方
- ・介護を受けている方で外出が困難な方
- ・障がいをお持ちの方で外出が困難な方

大阪市マイナンバーカード
出張申請サポート窓口・訪問型出張申請受付サービス コールセンター

TEL **050-3535-0200** [受付時間] 全日/9:00~17:30
(12/29~1/3を除く)

FAX 06-7178-8897 ✉ osaka.city.mnc@ddcontact.jp

訪問型出張申請受付サービス
特設サイトはコチラ!

<https://mynumber.city.osaka.lg.jp/visit/>



(広告)

どんな広告を
作ればいいのか
悩む...



何年も使っている
冊子を
新しくしたい!



内製している
チラシの評判が
よくない...



クリエイティブ関連のお悩み解決は
「ウェルおおさか」も制作している
アド・エモンにぜひお任せください!!

チラシ

パンフレット

小冊子

カタログ

会社案内

各種PRツール

取材・撮影

印刷

アニメーション動画
and more...



納得のご予算でお客様のイメージを
トータルでカタチにします!!

TOTAL CREATION

AD-EMON

株式会社 アド・エモン

〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-23 丸丹ビル306号

TEL 06-6358-1010 FAX 06-6358-1011 ✉ info@ad-emon.com

<http://www.ad-emon.com>



(広告)

十三市民病院 いきいき健康セミナー開催

10月15日(火) 14:00~15:00 **参加費無料**

がんと栄養 予防と治療中の食事

講師 管理栄養士 源氏 博子

市民公開講座

10月19日(土) 10:30~11:30 **参加費無料**

こんな症状ありませんか?
**身近な症状からわかる
女性の病気**



産婦人科部長 中田 真一



閉経後
たまに出血

お腹周りが
急に太った

月経前に
イライラ など...

それは、病気のサインかも...

いきいき健康セミナー・市民公開講座ともに

場 所 ▶ 大阪市立十三市民病院 9Fすかいルーム

その他 ▶ マスク着用 申込不要

問合せ

大阪市立十三市民病院 地域医療連携室
☎06-6150-8000(代表)

CENTER INFORMATION

大阪市社会福祉研修・情報センターのご案内

開館時間 / 9:00～21:00まで(土・日曜日は9:00～17:00まで)

図書・資料閲覧室は9:30～17:00まで(月～土曜日) ※毎週金曜日19:00まで

休館日 / 国民の祝日(土・日曜日と重なる場合は除く)、年末年始(12月29日～翌1月3日)

項目	直通電話番号	お問合せ時間
会議室など利用の問合せ	06-4392-8200	9:00～21:00(土・日曜日は17:00まで) (会議室の申込・お支払いは9:30～17:00)
研修関係の問合せ	06-4392-8201	9:00～17:00
図書・資料閲覧室の問合せ	06-4392-8233	9:00～17:00

貸室ご利用の皆様へ

貸室予約がオンラインで24時間パソコンやスマートフォンから可能となりました。

ホームページの【貸室のご案内】よりログインし、ご予約ください。
初めてご利用される方は、事前にお問合せください。

ウェルおおさか

利用申込の受付は6か月前からです。

利用日の6か月前(6か月前の同じ日)から、インターネットでの予約、または電話や窓口でご確認のうえ所定の用紙でお申込みください。

電話や窓口での受付は、9:30から17:00まで。

☎06-4392-8200 FAX06-4392-8206

※インターネットでの予約可能な期間は、利用日の6か月前から利用日の1週間前までです。

FAXでの申込み可能な期間は、利用日の6か月前の9:30～利用日の3日前までです。
詳しくは、ホームページの【貸室のご案内】をご覧ください。



会議室等の使用料

利用できる貸室および料金は、次のとおりです。ご予約は利用日の6か月前からです。

(単位:円)

室区分	利用人員のめやす	時間区分	午前	午後	夜間	全日
			9:30～12:30	13:00～17:00	18:00～21:00	9:30～21:00
4階	会議室	99	3,800	5,100	3,800	11,400
	会議室 東	45	1,900	2,600	1,900	5,800
	会議室 西	54	2,900	3,800	2,900	8,600
	介護実習室	36	5,700	7,600	5,700	17,100
	演習室	18	1,000	1,300	1,000	3,000
5階	大会議室	144	5,800	7,700	5,800	17,400

交通 / ご来所には【大阪シティバス】【JR】【大阪メトロ】をご利用ください

●大阪シティバス

【長橋二丁目】バス停すぐ
52系統(なんば～あべの橋)

【中開三丁目】バス停徒歩5分
80系統(鶴町四丁目～あべの橋)

●JR大阪環状線・大和路線

【今宮】駅から徒歩約10分

●大阪メトロ・四つ橋線・御堂筋線

【花園町】駅(①・②出口)から徒歩約15分

【大国町】駅(⑤出口)から徒歩約15分

所在地 / 〒557-0024 大阪市西成区出城2丁目5番20号

設置主体 / 大阪市

運営主体 / (指定管理者)
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

電話 / ☎06-4392-8200(代表)

ファックス / FAX06-4392-8206

URL / https://www.wel-osaka.com

Facebookもチェック



X(旧Twitter)もチェック



「ウェルおおさか」に
広告を掲載しませんか

詳しくはお問合せください…

大阪市社会福祉研修・情報センター

☎06-4392-8201 FAX06-4392-8272

✉kensyu@shakyo-osaka.jp



人権啓発キャッチコピー

【テーマ】人権全般

先入観 持たず広がる 世界観

加藤 優衣さん(令和5年度「人権に関する作品募集事業」キャッチコピー 高校生の部 優秀賞)